

ボランティア OSAKA



〈ペタンク〉



〈サッカー〉



〈太極拳〉



〈ソフトバレーボール〉

**成功させよう！
ねんりんピック2000大阪**



〈将棋〉



〈なぎなた〉

第22号

2000
AUTUMN
●発行●
(福)大阪府社会福祉協議会
大阪府ボランティアセンター

**特集 地域の介護力を高めよう！
在宅高齢者を支えるボランティア活動**

●市町村ボラ連「Vサイン」No.11

写真提供：大阪府地域福祉推進財団

ねんりんピック2000大阪

高齢者を中心とした世代間交流とスポーツ・文化の祭典「ねんりんピック」が、今年は11月3日(祝)～6日(月)の4日間、大阪で開催されます。

同時開催

ふれあい広場・ねんりんピックステージ と 第9回おおさかボランティアフェスティバル

平成12年11月4日(土)～6日(月)

会場：大阪城公園「太陽の広場」(大阪市中央区大阪城3番)



ふれあい広場・ねんりんピックステージ

期間中の11月4日(土)～6日(月)は、大阪城公園「太陽の広場」において関連イベントを多数開催。

なかでも「ふれあい広場・ねんりんピックステージ」では、大阪を拠点に活動するボランティア団体などによる楽しいライブがくり広げられます。

<ステージ内容>

●4日(土)

和太鼓演奏、ボランティア紹介（インド舞踏、マジック、盲導犬）、笑いの素人名人会、ファミリーコンサートなど

●5日(日)

管弦楽演奏、中国雜技団、手話落語会、ボランティア紹介（ファッショショーンショー、お笑い研究会、ピユール、車いすダンス）、民族舞踊、カラオケ歌謡ショーなど

●6日(月)

太鼓演奏、ボランティア紹介（演劇、国際交流、ハンドベル）、懐かしの大通芸、ゴスペルコンサート、オリエンピック招致音頭など

第9回おおさかボランティアフェスティバル

またステージそばで「第9回おおさかボランティアフェスティバル」も同時開催。国際交流、自然環境、福祉・保健など、さまざまな分野で活躍している大阪のボランティア団体が、2001年のボランティア国際年に向け、その多彩な活動を広く府民に紹介します。日頃の活動を紹介するパネル展示やバザー、また、高齢者疑似体験など内容は盛りだくさん。子どもからお年寄りまで、世代や地域を超えて、楽しく交流を深めましょう！

<参加予定団体>

大阪ボランティア協会、JBS日本福祉放送、アジア協会アジア友の会、国際友好協会、大阪自然環境保全協会、緑の地球ネットワーク、勤労者ボランティアセンター、企業・団体ボランティアネットワークとよなか、N A L C、日本病院ボランティア協会、大阪手話サークル連絡会、拡大写本グループアイリス、市町村ボラ連、寝屋川市ボラ連、高齢者外出介助の会、桜井宗悦(茶席)、関西国際ボランティアクラブなど

主 催

第13回全国健康福祉祭大阪大会実行委員会

大阪ボランティア推進府民会議

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

地域の介護力を高めよう! 在宅高齢者を支える ボランティア活動



介護保険がスタートして半年が経ちました。一部で予想された「大きな混乱」こそなかつたものの、制度理解の不足や自己負担への抵抗感もあってか、目指されている「介護の社会化」はまだこれが本番のようです。

そんな中、介護保険の周辺分野で、地域の高齢者の生活を支える多彩なボランティア活動が盛んです。また介護保険のスタートで、あらためて「ボランティアならではの良さ」が再評価もされているようです。株式会社などが介護サービスに参入する中、「ボランティアの暖かさ、制度に縛られない小回りの良さがいい」と語る利用者は少なくありません。

もちろん、介護ニーズの中心的な部分は介護保険が担うとしても、それを力とする多彩なボランティア活動は「介護の社会化」、すなわち地域で高齢者の生活を支えていくためには、今後とも欠かせない活動であることは言うまでもありません。言われている「地域の介護力」を高めていくためにも、いじりした取り組みが今後ますます活発化していくことが期待されています。

今回は、「貴重な地域資源」との評価が高まりつつある、高齢者を支えるさまざまなボランティア活動を紹介してみましょう。



在宅介護から送迎、入浴まで、幅広く高齢者の生活を支援

●大東市 介護ボランティア連絡会606会



大東市社協の登録ボランティア連絡会として活躍している「介護ボランティア連絡会606会」。昭和60年に主婦6人で始めたのが名前の由来です。今では、総勢215名ものほるメンバーが、5つのグループに分かれて多彩な活動を展開しています。

在宅介護ボランティアの「ほっと」、送迎介護ボランティアの「よりそい」、年間の利用者数はのべ1万人。「介護保険が始まれば、利用者はかなり減るのでは」という当初の予想に反して、介護保険スタート後も利用者は増えこそれ、減ることはありませんでした。その最大の理由は「いつも同じ人が来てくれるから安心できる」という利用者との信頼関係。一人の対象者に対して担当する人がある程度固定し、かつ在宅介護ボランティアは常に2人ペアで訪問。「いつもの顔を見るとホッとする」という利用者の声から、在宅介護ボランティアのグループ名「ほつと」が生まれたのです。

また、元事務局長で現在は相談役を務める寺岡洋子さんは、介護保険の影響について「介護保険によるサービス受給までの期間をカバーするための短期利用が増えました」とも。緊急要請をするほどではないけれど一日も早い援助を必要としている人や、病院を退院して判定までの間のケアが必要な人

などが多いそうです。

同時に、介護保険に関する相談を受けることも多く、高齢者を公的制度につなぐ橋渡し役としても活躍しています。「606会は、大東の地域福祉にとって欠かせない存在」と、大東市社会福祉協議会ボランティアセンターの橋本博之さん。「地域のことや、そこに住む人たちのことをよく分かつておられ、人生経験も豊富だからこそできることなんです」

そして、現場で活動する5グループを支えているのが、グループ代表「ふれあい」。各グループに、それぞれの活動内容にちなんだ名前がつけられています。

「ふれあい」。各グループに、それぞれの活動内容にちなんだ名前がつけられています。

年間の利用者数はのべ1万人。「介護保険が始まれば、利用者はかなり減るのでは」という当初の予想に反して、介護保険スタート後も利用者は増えこそれ、減ることはありませんでした。その最大の理由は「いつも同じ人が来てくれるから安心できる」という利用者との信頼関係。一人の対象者に対して担当する人がある程度固定し、かつ在宅介護ボランティアは常に2人ペアで訪問。「いつもの顔を見るとホッとする」という利用者の声から、在宅介護ボランティアのグループ名「ほつと」が生まれたのです。

また、元事務局長で現在は相談役を務める寺岡洋子さんは、介護保険の影響について「介護保険によるサービス受給までの期間をカバーするための短期利用が増えました」とも。緊急要請をするほどではないけれど一日も早い援助を必要としている人や、病院を退院して判定までの間のケアが必要な人

■運送先
大東市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL 072(874)1082



事務局会議ではさまざまな議題が。右から社協の橋本さん、事務局長木本さん、寺岡さん、森田さん、高野さん、矢谷さん。



地域の介護力を高めよう！

在宅高齢者を支えるボランティア活動



大阪府寝屋川市北校区——世帯数約7300戸、人口は約2万人。ここで、文字通り「地域が一丸となつて」在宅高齢者の暮らしをバックアップしています。

その活動を支えているのは、北校区福祉委員会と、そのボランティア部会および地域ボランティアグループ「な

い」です。校区福祉委員会が全体的な連絡調整と運営を担い、ボランティア部会はボランティア活動をとりま

事の起こりは86年。寝屋川市社協の「地域ボランティア養成講座」を受講した主婦たち15人が「活動につなげたい」と、なの花会を結成。翌年にはボランティア部会が設置され、記念すべき最初のイベントであるふれあいハイキングを皮切りに、少しずつ、しかし

着実に地域に根づいていきました。今では、一斉見守り活動（毎月10日）、配食サービス（毎月25日）、土曜サロン（月1回）、昼食会（年1回）、季節のイベント（年6回）など多彩なプログラムが実施されています。

「北校区のボランティア活動の特徴は

ボランティアをする人とされる人の垣根が低いことです」と、ボランティア部会長の大野里子さんは言います。老若男女を問わず、活動の内容によってボランティアスタッフとして手伝つたり一般参加者として参加したりするなどか。

「あるお年寄りの場合、幼稚園での折り紙指導などの座つてできる内容ならボランティアスタッフとして指導に行

とめ、個々の活動では行動部隊である「なの花会」が活躍する……この組織的なコンビネーションが見事に機能しているのが大きな特徴です。

事の起こりは86年。寝屋川市社協の「地域ボランティア養成講座」を受講した主婦たち15人が「活動につなげたい」と、なの花会を結成。翌年にはボランティア部会が設置され、記念すべき最初のイベントであるふれあいハイキングを皮切りに、少しずつ、しかし

着実に地域に根づいていきました。今

では、一斉見守り活動（毎月10日）、

配食サービス（毎月25日）、土曜サロ

ン（月1回）、昼食会（年1回）、季節

のイベント（年6回）など多彩なプロ

gramが実施されています。

「北校区のボランティア活動の特徴は

ボランティアをする人とされる人の垣

根が低いことです」と、ボランティア

部会長の大野里子さんは言います。老

若男女を問わず、活動の内容によつて

ボランティアスタッフとして手伝つた

り一般参加者として参加したりするの

だとか。

「あるお年寄りの場合、幼稚園での折り紙指導などの座つてできる内容ならボランティアスタッフとして指導に行

点から線、そして面へ 町ぐるみのネットワーク活動

● 寝屋川市 北校区福祉委員会

き、ハイキングやお花見は体力的にしんどいから連れていくつてもらう、といふような関わり方をしています」と大野さん。

また、北校区福祉委員会委員長の小西敏子さんは、校区福祉委員会の役割について次のように語ります。「きっとかけづくりと動機づけをすることが私たちの役割。地域の誰もが、してもらえることがあるし、してあげることもある。お金を使わずにみんなが参加し、楽しみ、喜ぶことができ、その結果、1人の問題を地域全体のこととして取り組める。校区福祉委員会は、そんな町になるための縁の下の力持ちなんですよ」。

だから活動の主役はいつも住民たち。「なの花会」のメンバーやボランティア部会の役員は裏方に回ることがほとんどです。

例えば、高齢者への誕生日花束訪問。これは、中学生ボランティアが誕生日を迎えたお年寄りに花束を届けるといふもの。表舞台に登場するのは中学生と高齢者だけですが、水面下では実際にたくさん的人が動き、連絡を取り合っています。対象となる高齢者の名簿づくりは、福祉委員会とボランティア部会と民生委員さんたちが協力して担当

当。その名簿が学校に渡され、先生が訪問先と生徒ボランティアをコーディネイト。民生委員から本人に在宅確認の連絡が入り、いよいよ当日、中学生が高齢者宅を訪れるという流れです。お年寄りにも中学生にも非常に好評で、毎年希望する生徒が多くなるため、先生方は人数調整に頭を悩ませているほどだとか。

町のテーマは「誰もが住みよい町づくり」。この10数年間の活動を通して、地域住民全員が隣近所で支え合い、世代を超えて交流できる風土の町をつくり、あけてきた北校区。その取り組みは、あたたかい町づくりのモデルケースとして、今、注目を集めています。



これは、中学生ボランティアが誕生日を迎えたお年寄りに花束を届けるといふもの。表舞台に登場するのは中学生と高齢者だけですが、水面下では実際にたくさん的人が動き、連絡を取り合っています。対象となる高齢者の名簿づくりは、福祉委員会とボランティア部会と民生委員さんたちが協力して担当

当。その名簿が学校に渡され、先生が訪問先と生徒ボランティアをコーディネイト。民生委員から本人に在宅確認の連絡が入り、いよいよ当日、中学生が高齢者宅を訪れるという流れです。お年寄りにも中学生にも非常に好評で、毎年希望する生徒が多くなるため、先生方は人数調整に頭を悩ませているほどだとか。

町のテーマは「誰もが住みよい町づくり」。この10数年間の活動を通して、地域住民全員が隣近所で支え合い、世代を超えて交流できる風土の町をつくり、あけてきた北校区。その取り組みは、あたたかい町づくりのモデルケースとして、今、注目を集めています。

■連絡先
寝屋川市社会福祉協議会
TEL 072 (838)0400



右から大野さん、小西さん、澤井さん（広報部会長）

校区のお年寄りは校区で守る

●豊中市 原田校区福祉委員会



「遊友」では、お年寄りたちの賑やかな笑い声が絶えない

住民が主体となり、積極的な地域ボランティア活動を展開してきた大阪府豊中市の原田校区福祉委員会。昭和57年の設立以来、コーラスや健康体操、給食サービスや健康相談など、高齢者へのケアを中心とした様々な活動を行ってきました。現在では高齢者支援のみにとどまらず、養護学校の児童の送迎から障害者の作業所支援にいたるまで、

地域に根ざした幅広い活動内容で、高い評価を受けています。

そんな同福祉委員会では、平成9年

4月、ミニデイサービス「遊友」を発足。地域ボランティアによるミニデイサービスは最近、各地で増えつつあります。「遊友」は校区福祉委員会が施設専用に一軒の民家を借りて運営しており、これは全国でもめずらしいケースです。

活動は、第2・第4水曜日の月2回。送迎つきで朝10時から午後3時頃まで、お年寄りたちは「民家」で過ごします。健康チェックのあと、手作業したり、手作りの昼食をとったり、みんなでゲームやレクリエーションを楽しんだり、おやつを食べたりなど、1日の内容は盛りだくさん。1回1000円で利用でき、現在、12名のお年寄りがここに通っています。

その発足の経緯について、同校区福祉委員会の戸谷文代さんは、こう語られます。

「原田校区の活動は、平成4年に選出された220名の校区福祉委員と平成6年に発足した『ボランティア部会』の約130名のスタッフの活躍で成り立っています。私たちは長年にわたり高齢者の生活支援活動を行ってきました。



専用車両での送迎風景



乗降リフトが設置されているので車椅子でも安心

があります。あちこちの施設の見学会がありたい! というひと声が、「遊友」発足の引き金になつたんです」

しかし、地域でできることには限界があります。あちこちの施設の見学会や地域福祉についての勉強会などを重ね、検討した結果、ミニデイサービスを始めることになりました。

「みんな専門知識をもたない素人集団ですから、何からはじめたらいいのか色々な面で当然、不安はありました。そこで、豊中市社会福祉協議会に相談したところ快く協力していただけることに。以前から地域内に車椅子用のリフトを裏口に取り付けていたお宅があり、そこが空き家になっていたので借りられたらいいなあと思っていたのですが、たまたま持ち主が市社協の登録ボランティアであつたことから社会福祉協議会を通じて持ち主に声をかけていただいたら、ふたつ返事で快諾。賃貸に関する契約の手続きもしていただき、「遊友」はスタートできました。

また、始めての一年間は、介護の指導や実習のため、市保健センターから保健婦さん等を派遣していました。

社会福祉協議会の数々のバックアップのおかげでここまでこれたんですよ」と、戸谷さん。



今年5月、ユニークでパワー溢れる活動の経緯が綴られた本を出版。反響を呼んでいる

民家を借りて運営している校区ディサービス「遊友」

それに対し、発足当初から携わっていたという豊中市社会福祉協議会職員の勝部麗子さんは、

「遊友」の活動は多くの人の分業制が特徴。掃除が好きな人、お料理得意な意な人、パソコンで経理ができる人、男性ならば大工仕事をする人、送迎車を運転する人など、それぞれが得意なことを分担しながら、しかもできる範囲から活動しているので、労力の上で軽に始められます。なかには人との交流が楽しくて、続けていくうちにどんどん深みにはまっていく人もおられます。

原田校区の皆さんのはじいところは、全員がとにかく行動力があり、パワフルなところ。リーダー格の人がいて、あとからみんながそれについていくというやり方ではなく、一人ひとりが当事者意識をもち、ボランティア活動を積極的に楽しんでいる。そういう人たちに支えられているからこそ、お年寄りもご家族も、安心して楽しく利用されているんですね」と語ります。

「遊友」では常時、15～16名のスタッフがお年寄りのケアにあたっていますが、お年寄りよりもボランティアの数の方が多いのも、他では類を見ないところかもしれません。こうした住民の自発的なパワーで、原田校区の地域ボランティアは、これからもますます発展していくことでしょう。

◆連絡先

校区デイハウス村井「遊友」

TEL 06(6855)4558-1

今年の8月にNPO法人格を取得
校の非常勤講師をしながらさまざまな活動にとりくんできた方です。

NPO法人格の取得で、 近い将来は介護保険の指定事業者に

●泉ひまわりの会

お盆休みの8月16日、大阪府高石市にある市立野外活動センターに約20名の女性が集まりました。この日はNPO法人「泉ひまわりの会」の慰安の集いとミーティングの日。ワイワイガヤガヤと野外バーベキューを楽しみ、その後は雰囲気をガラリと変えて、これらの活動についての話し合いが行われました。

「泉ひまわりの会」は、高石市に暮らすお年寄りや障害者の日常生活をサポートする有償ボランティア団体。93年に発足し、今では36人のボランティアメンバーが、ほぼ同数の地域のお年寄りや障害者のお世話をしています。

「生協活動をしていた主婦たちが集ま

し、近い将来は介護保険の指定事業者をめざしていますが、「まだ専用事務所も確保できていない状態。でも手応えは十分。非営利組織だからこそできるお世話、サービスがあると思うんです。言つてみれば狭間のニーズへの対応。高齢者宅の家事援助だけなくいろんな活動をしていますが、幸い、利用者の皆さんには大いに喜んでいただいています。利用者とそのご家族の満足が私たちはやりがいで、それがまた自信にもつながっています」とメンバーのみなさん。

いわゆる有償ボランティア団体で、サービスを受けるには、利用者は10

00円の年会費と一時間800円の活

動費負担が必要ですが、「それでも台所事情は火の車（笑）。でも、高齢者たちも成長させていただいているようなお世話などで、ボランティアの私たちも成長させていただいているような気がするんです。お年寄りのいろんなお話を聞くことで、その人たち長年の人生を疑似体験できるというか」とメンバーは口を揃えます。

活動の幅は、高齢者のお世話から妊娠産婦の産前産後のお世話、また精神障害者のサポートなどきわめて多彩。行政の期待も大きく、いまや高石市には欠かせない活動として定着しています。



「泉ひまわりの会」メンバーのみなさん



野外バーベキューを楽しんだ後は真剣な表情でミーティング



◆連絡先

TEL 072-222-1877

(吉谷宅)



地域の介護力を高めよう！

在宅高齢者を支えるボランティア活動



久しぶりの外出でお年寄りにも笑顔が

94年10月に発足したボランティア・グループ、「高齢者外出介助の会」。ひとり歩きが不安なお年寄りや、軽い痴呆があり、誰かの同行が必要なお年寄りのために、ボランティアが外出の際の介助を行っています。

「この会を発足したきっかけは、私が身が姑の介助を経験したからなんですよ」と、代表者の永井佳子さん。障害児の夏休みの預かり保育や、老人ホーム、いのちの電話など、長年にわたり多くのボランティア活動に携わってきたという永井さん。自分がお姑さんの世話ををする立場になつたとき、どうして世の中にこのような活動がないのか、と疑問に感じたと語られます。

テニアも活躍中
依頼される外出先はお年寄りの要望により実にさまざま。買い物や通院、散髪などの日常生活に直結したものから、映画鑑賞や展覧会、魚釣りなどの趣味にまつわるもの、そして時には、遠方へのお墓参りや親戚への訪問など、宿泊を伴うケースもあります。
同会のモットーは、特に危険がない限り、外出先でもお年寄りの意思をなべく尊重するよう心がけるということ。

高齢者のひとり歩きの不安を解消

●高齢者外出介助の会

あります。そのため、家の中に閉じこもりがちになり、日常生活に張りを感じられなくなっているお年寄りが少なくなることがあります。また、ひとり暮らしで近くに家族がない人の場合、通院などの行き帰りも切実な悩みです。

かかえつてお年寄りにとつては程良い
刺激になるんです。また、こうしてボ
ランティアとのつながりができる」とい
うで、「ご家族の方もほつと安心する」と
ができるんですよ」とも。

しまうことさえあります。ですから、お年寄りが本当に望むことを、その方のペースに合わせて、ゆったりとおつき合いすることが大切。時間制で区切られている介護ヘルパーとは異なり、ボランティアだからこそ、こうした要望にお応えすることができるんです」
と、永井さん。

そんな同会では、年数回、高齢者のための音楽コンサートも主催しています。これは、登録会員に限らず参加でき、そこでこの会の活動内容を知り、会員になる方もいらっしゃるとか。

今秋より、入院中のお年寄りをサポートする”入院支援事業”も展開する予定で、これから活動がますます注

◆連絡先
高齢者外出介助の会
TEL 06(67-64)4002
田村さまです。

寄りの介護をする場合、どうしても双方に”家族だから”という甘えが生じ、感情的になりやすいもの。特に嫁姑の関係になると、複雑なものもありますし…（笑）。その点、ボランティアだと、他人同士ということで適度な距離が保て、お互いに気遣いができる、それがかえってお年寄りにとっては程良い刺激になるんです。また、こうしてボランティアとのつながりができるところで、ご家族の方もほつと安心することができるんですよ」とも。

同会では本人だけでなく家族からの登録も可能。歩行さえできれば、軽い痴呆があつても受け入れてもらえます。現在、利用会員は113名。それに対して、約60名のボランティア・スタッフが介助活動にあたっています。20代から70代までの会社員やOL、学生など、年齢層が幅広く職種も多様で、中には看護婦やヘルパーの資格を持つ人もいます。もちろん男性のボランティアも活躍中。

依頼される外出先はお年寄りの要望により実にさまざま。買い物や通院、散髪などの日常生活に直結したものから、映画鑑賞や展覧会、魚釣りなどの趣味にまつわるもの、そして時には、遠方へのお墓参りや親戚への訪問など、宿泊を伴うケースもあります。

◆連絡先
高齢者外出介助の会
TEL 06(6764)4002

いつもと違う場所でタクシーを待とうとお連れしたら、お年寄りに不安がられたことがあります。まず、ご本人の意思を確認するべきだつたんですね。このように、こちら側が良かれと思つてすることでも、お年寄りにとつては、必ずしもそつは限らない。場合によっては、”大きなお世話”になつてしまふことさえあります。ですから、お年寄りが本当に望むことを、その方のペースに合わせて、ゆつたりとおつき合いすることが大切。時間制で区切られてゐる介護ヘルパーとは異なり、ボランティアだからこそ、こうした要望にお応えすることができるんですよ」と、永井さん。

そんな同会では、年数回、高齢者のための音楽コンサートも主催しています。これは、登録会員に限らず参加でき、そこでこの会の活動内容を知り、会員になる方もいらつしやるとか。

今秋より、入院中のお年寄りをサポートする”入院支援事業”も展開する予定で、これから活動がますます注目されます。

۲۷

「ある雨の日、痴呆の方の付き添いをしたんですが、濡れるのを心配して



精力的に外出介助のコーディネートをする永井さん

◆連続文

高齢者外出介助の会
TEL 06(676)

54(4)4002

高齢者の生きがいワーカーズ支援事業

生きがいづくりのために
こんな事業や活動をしませんか

たとえば

- ◆ 食事を作るのが困難な方へ食事をお届けするサービス
- ◆ 空き地を活用して、花を作つて販売を…
- ◆ 駐車場の管理…
- ◆ そのほか、家事サービス、手づくり作品販売店、伝統産業の復活など…
- こうした活動のを

- 高齢者（60歳以上）の方を中心（半数以上）としたグループ（10人以上）で活動を実施しようとされる方々が、生きがいづくりと就労を結びつけた活動を実施しようとされる場合など、自主的・自発的な運営による事業や活動に対し支援します（ただし、営利を目的とする活動などを除きます）。
- 1億1,000万円を限度に事務所や活動場所の整備や改修、設備や備品の購入に係る経費を助成します。

問合せ　社会福祉法人　大阪府総合福祉協会自立支援室　ヒューマイン

（大阪府同和地区総合福祉センター）

TEL　06（6561）4194

または　大阪府健康福祉部高齢介護室在宅課

在宅支援グループ

TEL　06（6941）0351

（内線44855）

自助具製作ボランティア育成講座

日常生活の自立を助ける生活用具に工夫をこらした自助具（スプーン、コップホルダー、洗濯ばさみ、長柄ブラシ）を製作します。

日時　12／17（日）、1／28（日）の2日間コース
10時～16時

場所　府立介護実習普及センター
(茨木市大住町8-1)

実費　2000円
問合せ　府立介護実習普及センター
TEL　07226（256）33381

チャリティーラン2000

収益（参加費）を心身に障害のある子どもたちを励ますプログラムの活動資金に用います。

日時　11／12（日）10時～11時
ルール　約10kmを6人で走行。宣言タイム制か順位制を申請

場所　浜寺公園（堺市）
参加費　1チーム5万円
問合せ　大阪YMCA国際・社会奉仕室
TEL　06（6441）0894

大東市地域リハビリテーションまつり

「自分らしく地域で暮らすために、権利擁護と福祉のまちづくり」をテーマに講演とシンポジウムを行ないます。他に福祉用具展示、パネル展示なども。

日時　10／21（土）13時～16時
講演　山縣 文治さん

（大阪市立大学生活科学部助教授）

場所　大東市立市民会館
問合せ　大東市保健医療福祉センター
リバビリテーション課
TEL　072（875）2661

バザーをお手伝いください

～バザー用品の献品も～

日時　11／1（水）～2（木）11時～15時
場所　大阪市中央区東心斎橋1-6-7
島之内教会

問合せ　国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター
TEL　06（6251）4339

ボランティア募集

ボランティア募集

障害者作品展

堺市在住の障害者の作品展の準備・受付・撤収などをお願いします。

日時　11／3（金）11時～15時
場所　堺市総合福祉会館
(南海高野線堺東駅より徒歩7分)

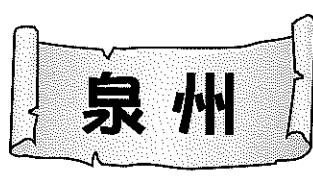
問合せ　堺YMCA
TEL　0723（66）1649



にぎりん棒づくり。うまいものでしょう



後ろへ下がってきそうだよ。思うように動かすには、時間かかるよ



小・中学生のボランティア 体験学習に協力して

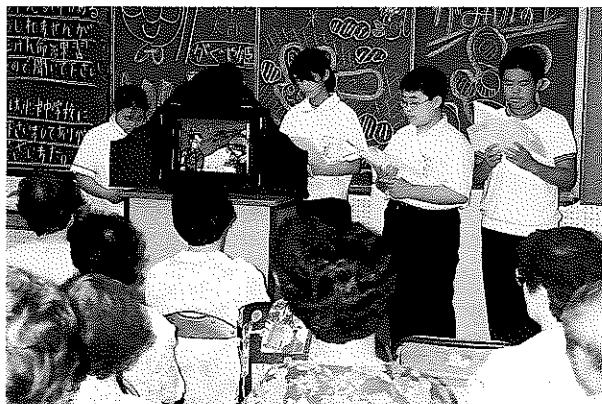
泉大津ボランティア連絡会



点字ってなかなか力がいるよ

中学生が社会人講師の技術や知識、体験等に触れて社会変化に対応し、主に生き抜く力を身につけるよう支援する趣旨で、泉大津ボランティア連絡会によるボランティア体験学習が行われました。今回はボランティアに興味を持った2年生20名と3年生19名の選択授業です。私たちは福祉ボランティアが中心なので、日頃の活動状況を説明し、自分で考え、気づいて行動して欲しいという話をしました。体験学習の主な内容は、車イスの使い方やガイドの方法、手話、点字、さわる絵本、介護用品作りの一部など。また、ティーブ雑誌の原稿を書いて朗読・録音し、ソースステープを作りましたが、これは、利用者に好評でした。

そして生徒たちは、乳児院と地域の「いきいきサロン」で紙芝居を演じ、ボランティア活動を実体験しました。これからも子どもたちがボランティア体験をする機会や方法について考えていただきたいと思っています。

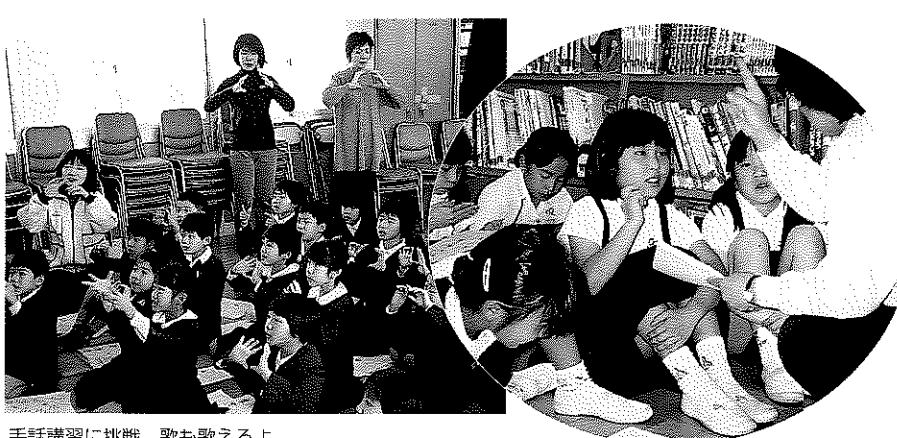


中学生のいきいきサロンでの紙芝居。なつかしんでもらえたよ

子どもたちに手話をわかりやすく指導 手話サークルこひつじ

私たち手話サークルこひつじは、小・中学校でボランティア体験学習として手話の学習指導を行っていますが、どうすれば子どもたちに興味をもつて覚えてもらえるのか、学年によって指導方法を考えねばなりません。例えば、小学校一年生には、身振り手話を表し、クイズ形式で答えてもらっています。皆真剣に考えて元気よく

答えてくれるので私たちも楽しくなります。手話コーラスも覚えるのがとても早く、びっくりしています。三年生以上になると、TVで手話を見て覚えたとか、手話ニュースを見たことがあるよと言ってくれます。中には熱心に質問してくれる子どもたちがいてうれしいです。内容は、指文字、挨拶、自己紹介などですが、指文字の形や向



手話講習に挑戦。歌も歌えるよ

つての指導は初めてです。でもまだ私たち自身がパソコンに不慣れなので、会の講師の方に講義をお願いしました。講師は視覚障害者です。中学生たちは、まず講師を校長室へ2人1組で迎えに行くことから始めました。20人の生徒たちは、視覚障害者に接するのは初めての体験らしく、最初は問い合わせに黙つてうなづいたり首を横に振つたりで、担当の先生から「声を出して返事しないと先生に伝わらないぞ」と、何度も注意を受けていました。しかし、だんだんと「先生、ここはマス空けするんですか」などと積極的に質問するようになりました。授業が終了すると、

パソコンでの文章作成にも少しずつ慣れてきて、今は一冊の本の一部分を各自が分担し、授業の終了時には一冊の点訳本として完成させる作業に入っています。授業の日数が少ないので、点字を読む指導まではできなくて非常に残念です。本が完成した時、生徒たちからどんな感想が聞けるのかが今から楽しみです。この選択授業を受けたことで、中学生たちが自分以外の他の人にでも目を向け、知り、理解しようとする優しさを、少しでも増やしてくれると助けてになれたらこれほどうれしいことはありません。

中学校でパソコンを使って点字を指導

導
上

きが難しいようです。それでも、しばらくすると自分の名前をスムーズに表現できるようになります。学年が上がるとつれて少し恥かしいのか、照れる子どもたちが多いように思われます。

指導するにあたり、手話って何?、聴覚障害者と手話、聴覚障害者の生活の様子などを伝えるのは、とても大切な事だと考えてします。また、子どもたちが英語を習うのと同じ様に、手話は目で見る言葉であり、一つの言語として子どもたちが受け止めてくれれば

近年、体験学習が増えてきています。
この学習をきっかけに、聴覚障害者とのコミュニケーションに興味をもつてくれる子どもたちが増えたければ、私たちサークルとして、とても嬉しく思いますと同時に、これからも色々と工夫して指導していきたいと考えています。

今後は、できれば「泉大津ろうあ福音協会」と一緒に指導を進めたいと思っています。



センターの啓発・宣伝事業として発足したもので、ボランティアグループの活動PRの場としても、すっかり定着してきた感があります。

当日、会館の駐車場広場では、ボランティアグループが模擬店やバザー、ゲームコーナー、作品展示・販売など、多種多彩な催しを展開。日頃の活動の

また同時に、近隣の府立淀川工業高校吹奏楽部の協賛を得て、吹奏楽コンサートを開催。毎年全国大会で優勝するという素晴らしい実績を持つクラブだけあって、千余席あるホールが早々に満席となる大変な人気でした。つめかけた満員の来場者をも巻き込んで、ボランティアの熱い情熱が燃焼した一日となりました。

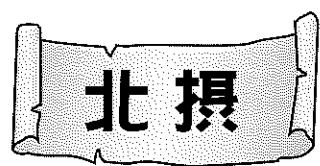
成果を披露する、にぎやかな交流の場となりました。真夏の開催ということとで模擬店コーナーにはかき氷屋さんやラギラと照りつける太陽の下、多くの参加者で賑わっていました。

**真夏の定例イベント
「守口市社協ボラフェス」開催!**

河 北

7月20日に「守口市社協・ボランティバル」が開催されました。

成果を披露する、にぎやかな交流の場となりました。真夏の開催ということなりました。模擬店コーナーにはかき氷屋さんや冷たい飲み物屋さんが数多く並び、ギラギラと照りつける太陽の下、多くの参加者で賑わっていました。



いばらきの街を一緒に調べてみませんか?

いばらきの友 地図つくる隊

誰でもが使いやすい
地図を作りたい! と
集まつた仲間です。
さて、マップを作
るのだったら当事者体
験をしよう”と第1回体験会を7月15

日(土)午後に開きました。中・高・
大学生に呼びかけましたが結果はスタッ
フの体験に。”門真市の車イスMA
Pつくり隊”的ビデオを見て、調査の
仕方を勉強しました。

・アイマスク体験……2人一組になり
ました。今日初めて会う人や、ご夫婦
も。さあ、相手を信用していますか?
ボランティア講師の説明後、歩きま
す。アイマスクをしている人をほって
自分で動いている人、「左に曲がり
ます」と言って右に曲がり怒られてい
る人、階段のてすりの位置を伝えきれ
なかつた人。介助の人を信頼している
とスマーズに動ける事がわかりました。
ゆるやかにカーブしている道は、方
向が分からなくなり不安です。手引き
をしている間は、曲がる時にメリハリ
をつけなくつちやと思つたり、状況説
明が間に合わなく上り階段が終わつた
のに足を上げさせて「ごめん」的確な
言葉の大切さと見えないことの大変さ
の一端を感じられた時間でした。

・車イス体験……いつも車イスを押
すボランティアをしている人も、自分
が乗つて自走するのは初体験。基本の

基本をボランティア講師が説明しまし
た。まずエレベーターで降り街へ。歩
道の傾斜に、右に左に店に突つ込みそ
うになり、なかなか前に進まない。さ
あコンビニで飲み物を買ってみましょ
う。自動ドアではないので入りにくい。
これつていつから押すドアになつたの
か。目的のジュースの前までは楽に移
動。しかしドアを開けるとジュースに
届かない。何回か車イスを操作してや



・電動車イス……乗つている本人か
らの説明です。動かし方や、もう1
台を使っての分解のようすなど聞き
ました。

・グランドで乗つてみた人も初めての
体験で多くのことを学びました。この
経験をいかし、第2回目の体験会を9
月30日(土)に計画。スタッフ会議で
は、来年秋に作るマップの印刷代獲得
の作戦を練つているところです。
(茨木市ボラ連ふれあいサロン委員会
渡辺公子)



△スタッフ・隊員募集集中△

一人の市民として、人として一緒に
“作る”スタッフと調査隊員を求めて
います。なんだか自分の考えが大きく
広くなり、小さな気持ちがたくましく
優しくなつたような。これからも変わ
つていく私を楽しみにしています。皆
様は?

私たちのグループは、茨木市ボラン
ティア連絡会ふれあいサロン委員会と
茨木市障害者生活支援センター「す
っぷ21」と個人ボランティアで作つて
いるグループです。興味を持たれた方
はお気軽にお問い合わせください。



・いばらきの友

・茨木福祉マップつくる隊

・茨木市障害者生活支援センター

・すっぷ21

(TEL 0726-24-8653)

(会長) 谷之木功
「ささやり」自生地の下草刈りに取り組んでいます。



しかし、現地は急斜面で足元も悪く、草刈り機や鎌を持つての作業は大変です。こんな仕事を地主さんがたつた一人で毎年やってこられたことを考えると、改めて頭の下がる思いです。

以前は葛城山系の至る所で「ささゆり」が群生していたのですが、環境の変化によって最近ではごく一部に自生が見られるだけです。唯一残っているこの自生地を今後も守り育ててもらおうべく、私たちもできる限りの応援をしたいと思っています。

しかし、現地は急斜面で足元も悪く、草刈り機や鎌を持つての作業は大変です。こんな仕事を地主さんがたつた一人で毎年やってこられたことを考えると、改めて頭の下がる思いです。

以前は葛城山系の至る所で「ささゆり」が群生していたのですが、環境の変化によって最近ではごく一部に自生が見られるだけです。唯一残っているこの自生地を今後も守り育ててもらおうべく、私たちもできる限りの応援をしたいと思っています。

「ささゆり」の自生地は、葛城山麓の里山で、700mほどの民有地です。毎年きれいな花を咲かせるためには、春と秋の下草刈りが欠かせません。今年も地主さん(80歳)から要請がありましたので、周辺の清掃と美しい花の観賞を兼ねて、会員20人がお手伝いをしました。



今年6月4日の日曜日、柏原市と環境フェア実行委員会の主催で「環境フェア2000」が開催され、多くの市民が参加しました。リサイクル活動のフリーマーケットを中心でしたが、柏原市ボランティア連絡会も、「廢油せつけん」や「ゴキブリだんご」「おからドーナツ」「ペンシルバルーン」の販売を行い大好評を博しました。

「廢油せつけん」と「ゴキブリだんご」の準備は5月中旬から始められ、額に汗をうかべながら大勢のメンバーが懸命に製作しました。「おからドーナツ」は、当日早朝より調理グループを中心になって作りました。「ペンシルバルーン」は、製作の実演をしながらの販売です。ちなみに当日の実績は、せっけ

んが20個、だんご(10個入り)240パック、ドーナツ(3個入り)は270パック、バルーン80個ほどで、収入は連絡会の活動費にあてられました。この活動以外にもいくつかのグループが催しに参加しており、大いにボランティア活動のPRができました。これからも、皆さんに喜んで頂ける心暖かいボランティアを目指して活動を開きたいと願っています。

(かしわらんどグループ米田)



「ペンシルバルーン」の実演販売

ささゆりの自生地を行く 河南町ささゆりグループ

「ザ・かしわら やまとかわ 環境フェア2000」開催!

河南

私たち、町内各地域の美化活動や「ケナフ」の自家栽培に加えて、昨年から日本特産の「ささゆり」自生地の下草刈りに取り組んでいます。

こちらの自生地は、葛城山麓の里山で、700mほどの民有地です。毎年きれいな花を咲かせるためには、春と秋の下草刈りが欠かせません。今年も地主さん(80歳)から要請がありましたので、周辺の清掃と美しい花の観賞を兼ねて、会員20人がお手伝いをしました。

今年6月4日の日曜日、柏原市と環境フェア実行委員会の主催で「環境フェア2000」が開催され、多くの市民が参加しました。リサイクル活動のフリーマーケットを中心でしたが、柏原市ボランティア連絡会も、「廢油せつけん」や「ゴキブリだんご」「おからドーナツ」「ペンシルバルーン」の販売を行い大好評を博しました。

「廢油せつけん」と「ゴキブリだんご」の準備は5月中旬から始められ、額に汗をうかべながら大勢のメンバーが懸命に製作しました。「おからドーナツ」は、当日早朝より調理グループを中心になって作りました。「ペンシルバルーン」は、製作の実演をしながらの販売です。ちなみに当日の実績は、せっけ

んが20個、だんご(10個入り)240パック、ドーナツ(3個入り)は270パック、バルーン80個ほどで、収入は連絡会の活動費にあてられました。この活動以外にもいくつかのグループが催しに参加しており、大いにボランティア活動のPRができました。これからも、皆さんに喜んで頂ける心暖かいボランティアを目指して活動を開きたいと願っています。

(かしわらんどグループ米田)



ボランティア

Vクリッピング ボード

ボランティアをやってみたい!
そんなあなたに耳寄りな情報満載

<ご利用に当たって>

ボランティア活動へ参加を希望される方は、事前に各団体にお問い合わせの上、条件等を話し合ってから、参加してください。

●このコーナーに記載の情報はホームページでもご覧になれます。

<http://www.ovn.gr.jp/>



3

福祉マップの作成、各種イベント等のボランティアを募集

活動内容：障害のある人、ない人に関わらず、誰もが住みよい町にするために福祉マップを作成します。車イスの介助の他、福祉マップと一緒に作成していただける方を募集します。

日 時：受け入れ可能曜日は不定、曜日・時間は応相談
場 所：大阪市平野区の全域

募集対象：高校生以上、成人（概ね10～50歳代）、初心者歓迎、グループでの参加歓迎、親子での参加歓迎、障害者の方歓迎

問合せ先：TEL 06-6769-5073 FAX 06-6769-5074
自立支援センター はっぴー・すまいる
(担当／植野加代)

1

ネパールの子どもたちが作ったセーターの販売を手伝ってください

活動内容：「総会、及び先生派遣事業の報告会」の会場設営や総会中の運営、ネパールの子どもたちが作ったセーターなどの販売をお手伝いください。

日 時：10月21日（土）13:00～20:30（13時～設営準備、17時半～報告会、19時～懇親会）

場 所：大阪国際交流センター（天王寺区上本町）

沿 線：近鉄 上本町駅 徒歩5分

募集対象：年齢制限なし、初心者歓迎

費 用：懇親会の参加費は無料

問合せ先：TEL 06-6649-4471

（担当／横本昭彦）
ネパールの子供を育てる会
(担当／横本昭彦)

申込締切日：10月15日

4

老人福祉施設たんぽぽで継続的にお手伝いくださる方大募集!!

活動内容：生活介助、外出介助、交流、話し相手、遊び相手（事前オリエンテーション有）

日 時：毎週月曜日～土曜日、週1回からで、9:30～16:30

場 所：保健施設 たんぽぽ（茨木市真砂3-21-27）
沿 線：JR環状線 茨木駅 バス20分、阪急京都線
茨木市駅 バス15分（近鉄バス「若園公園前」下車、徒歩3分）

募集対象：中学生以上、成人（概ね10～60歳代以上）、初心者歓迎、グループでの参加歓迎、親子での参加歓迎、外国人歓迎

問合せ先：TEL 0726-36-8750 FAX 0726-38-7752
E-MAIL info@tanaka-hsp.or.jp
医療法人 恵仁会老人保健施設 たんぽぽ
(担当／田中淑心)

2

住之江「木の実園まつり」のお手伝い募集！

活動内容：知的障害のある仲間と楽しく交流しませんか？イベントの会場準備、模擬店、バザーの手伝い、園生の介助、後片づけなどをしてください。

日 時：10月29日（日）9:00～18:00

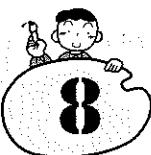
場 所：住之江「木の実園」及び区役所北側グランド
(大阪市住之江区御崎3-2-2)

沿 線：地下鉄四つ橋線 住之江公園駅 徒歩15分。また、住之江公園駅よりバス5分（南長居行き、玉出行き「区役所前」下車すぐ）

募集対象：高校生、概ね40歳代までの方、初心者歓迎、グループでの参加歓迎、外国人歓迎

問合せ先：TEL 06-6685-6611 FAX 06-6685-6622
住之江「木の実園」(担当／大江信行)

申込締切日：10月14日



駅前をきれいにするために、あなたの時間を少しください！

活動内容：季節の花の植え替えと、駅前の清掃など
日 時：第1金曜日 南海本線 樽井駅
 第1火曜日 J R 阪和線 和泉砂川駅
 第2月曜日 J R 阪和線 新家駅
 いずれも午前中
沿 線：南海本線 樽井駅(第1月曜日)
 J R 阪和線 和泉砂川駅(第1火曜日)
 J R 阪和線 新家駅(第2月曜日)
募集対象：成人(概ね30～50歳代)
問合せ先：TEL・FAX 0724-83-0294
 駅前清掃「さわやか」
 (担当／永来京子)



高齢者対象の、調理＆配食ボランティア募集

活動内容：調理ボランティア、配食ボランティア
日 時：第1金曜日(年7回) 9:00～15:00頃(部分参加也可)
場 所：大阪北生協コープミニ氷室 組合員集会室
 (高槻市氷室町4丁目2-5)
沿 線：阪急高槻市駅 徒歩5分
募集対象：どなたでも参加していただけます(組合員でなくとも歓迎)
費 用：1回 500円(昼食代)
問合せ先：TEL 0120-294-513(フリーダイヤル)
 大阪北生協 福祉情報センター
 (月～金10:00～16:00)
 またはTEL 06-6849-0231
 FAX 06-6846-4498
 大阪北生協 組合員活動部



「金剛山」森林ボランティア活動に参加しませんか？

活動内容：下草刈りや間伐などの森林ボランティア活動を行います。
日 時：毎月第3土曜日 10月21日、11月18日、12月16日 10:00～15:00頃
場 所：金剛山麓・知ノ川谷・花尾山造林地(富田林市)
集合場所：バス停「千早ます釣場前」10:00集合。
沿 線：近鉄 富田林駅よりバスまたは、南海 河内長野駅よりバス、金剛ロープウェー行き。
募集対象：初心者歓迎、グループ・親子での参加歓迎、外国人歓迎。
費 用：参加費 500円(傷害保険料他)
問合せ先：TEL 06-6361-5307 FAX 06-6314-9486
 大阪NPOセンター一氣付 日本森林ボランティア協会
持ち物：弁当、水筒、雨具、軍手、帽子、タオル、作業着(長袖、長ズボン、トレッキングシューズ)、健康保険証



紅葉の箕面国立公園・東海自然歩道でクリーンハイク

活動内容：紅葉の始まった箕面国定公園・東海自然歩道でクリーンアップハイクを行います。クリーンハイクコースは、勝尾寺→勝尾寺園地→東海自然歩道を開成皇子墓→政の茶屋→百年橋の約4km。
日 時：2000年10月29日(日) 9:00～11:30
 *集合場所＝千里中央駅 阪急バス5番のりば前
場 所：明治の森箕面国定公園(大阪府箕面市)
沿 線：地下鉄御堂筋線経由北大阪急行 千里中央駅 下車 阪急バス
募集対象：不問
費 用：参加費無料、交通費自己負担
問合せ先：TEL 06-6719-1518 FAX 06-6719-1518
 クリーン・パトロール 楠友クラブ(担当／北田)
申込締切日：10月29日
持ち物：弁当、軍手、あればゴミばさみ



自閉症の男の子と放課後一緒に遊んで下さる若者募集！

活動内容：9歳と7歳の自閉症をもつ男の子が、放課後の遊び相手(一緒に遊んでもらえる方)を求めています。
日 時：月～金 月2回程度 14:00以後ならいつでも
場 所：羽曳野市伊賀周辺の公園など
沿 線：近鉄南大阪線 藤井寺駅 バス10分
募集対象：小学生～大学生、成人(概ね10～20歳代)、初心者歓迎
問合せ先：TEL 0729-58-2315 FAX 0729-58-3853
 羽曳野市ボランティアセンター
 (担当／沖上あゆみ)



視覚障害者の外出のお手伝いや対面朗読をお願いします。

活動内容：視覚障害者の手引き・対面朗誦・テープ録音・行事(ハイキング・キャンプ・ボーリング等)のお手伝い・訓練(プール・音楽・囲碁・ジョギング等)の補助。お手伝いいただける方が少なくなくて困っています。ご協力をお願いします。
日 時：9:00～17:00
場 所：対面朗誦は日本ライトハウス館内で行います。
 それ以外は、活動内容により異なります。
沿 線：JR学研都市線 放出駅 徒歩20分
募集対象：専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10～50歳代)、初心者歓迎
問合せ先：TEL 06-6961-5521 FAX 06-6961-5521
 社会福祉法人 日本ライトハウス 視覚障害者リハビリテーションセンター(担当／中坊健司)
申込締切日：12月22日



「広げよう!!ボランティア
みんな輝く社会へ。あなたのちからで」



2001年ボランティア国際年に向け、大阪で、国際交流、自然環境、福祉や保健などで活動する

ボランティア達がボランティア活動の楽しさを紹介。ボランティーグループによるバザーや作業所製品の展示即売、

福祉のまちづくりのため、高齢者疑似体験などもあります。家族揃っておこしください。

ねんりんピック2000大阪協賛事業

第9回

おおさかボランティアフェスティバル

平成12年11月4日(土)～6日(月)

午前10時～午後4時、6日午後3時まで

参加費 無料

会場／太陽の広場

最寄り駅／

地下鉄長堀鶴見緑地線

「ビジネスパーク」駅

JR環状線「大阪城公園」駅



内容／

●特別ゲスト／紙ふうせん(ファミリーコンサート)

桂福団治一門(手話落語会)

叶麗子(カラオケ歌謡ショー)

旭堂小南陵一門(懐かしの大道芸)

など多数

●出店コーナー／

国際交流コーナー・自然保護コーナー

お茶席・似顔絵・ボランティア相談コーナー

インスタントシニア体験・手話講習・展示／販売



4日(土)
紙ふうせん
(ファミリーコンサート)



5日(日)
桂福団治一門
(手話落語会)



5日(日)
叶麗子
(カラオケ歌謡ショー)



6日(月)
旭堂小南陵一門
(懐かしの大道芸)

主
催

大阪ボランティア推進府民会議

後援

大阪府、大阪府教育委員会、(財)大阪21世紀協会、朝日新聞大阪厚生文化事業団、毎日新聞大阪社会事業団、産経新聞大阪新聞厚生文化事業団、読売光と愛の事業団、NHK厚生文化事業団近畿支局、大阪府共同募金会

問い合わせ先／大阪府社会福祉協議会・大阪府ボランティアセンター

TEL 06 (6776-622) 9631 FAX 06 (6776-622) 9631 (6776-622) 9631

住友海上は第9回おおさかボランティアフェスティバルに協賛しています。

安心 代理店

住友海上